

(様式)

第 2 回かわにし市民会議 議事メモ

班	1 班「産業の活性化」
コーディネーター	荒井 英明
ナビゲーター	なし
説明担当者(自治体)	交通政策課 小西課長 市民環境部 阪上副部長
日時	2019 年 7 月 6 日(土) 13 時 00 分から 16 時 00 分
場所	保健センター 1 階 集団健診室
その他	参加者数 21 名

趣旨・概要

テーマ共通の現状及び課題の共有

川西市の現状と課題～高齢化が進行する中で、オールドニュータウンの現状と今後の課題について～

市内産業の現状について、産業の施策、近隣市の主な産業

総括

班発表者総括

きんたくんバルが認知されていないので PR をすべき、交通の便が良くなったこと、川西のイメージを良くしていこうといった意見がでた。10 年後の川西を見据えて議論していければと話があったので次回からはそちらを意識して議論していきたい。

コーディネーター総括

いろんな意見が出た。いつまでも住みやすいまち、川西というブランドを高めるものとして川西の産業を考えていく。10 年先や、もっと先を見据えて、どういった産業が川西にあれば住民のためになるか、議論していきたい。非常にポテンシャルの高いまちであるとわかった。

協議の流れ

1 第 1 回市民会議振り返り

前回及び今回の自己紹介から川西がどんなまちが聞くことできた。

川西は多様性のある町である(駅周辺は快適、住宅地、ダム、山の自然エリアなど)

参加者も多様。老若男女、子育て中の人や子育てがひと段落した人など様々な人が参加している。

2 公共交通機関(交通政策課 小西課長より説明)

・川西市は交通利便性の高い地域

(駅又はバス停徒歩圏(800m、300m)人口カバー率 77.4%)

・公共交通については、少子高齢化による人口減少から利用者が減少した

・コミュニティバスは現在大和地区で実施している。運賃補助ではなく、法人の運営赤字
参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

分を補助金で補填している。

・利用料金と利用者数は相関関係にある。今後、これまで主な利用者であった働き世代が定年を迎えると利用率が更に落ち込み、路線廃止や便数減などにつながるため、対策をとる必要がある。

・公共交通の負のスパイラルという現象がある。公共交通の利用が減ると事業者の収入が減る。事業者の収入が減ると事業者は便数を減らすことやサービスの質を下げるなど、コストの削減を行う。コストの削減を行うと公共交通の利用が減る。こういった負のスパイラル続けると公共交通機関が成り立たなくなる。

公共交通の課題について

コ) 負のスパイラルが起こらないように、正のスパイラルへしていけないといけない。

公共交通について自分の住んでいるところが便利か不便か

便利...16人、不便...4人

主な移動手段は

公共交通...10人、自家用車...10人

参) ラストワンマイル問題について、市内の移動には車がないと不便である。全国的には高齢者の交通事故も増えている。免許返納をしやすくすることも重要。コミュニティ組織で、コミュニティバスを地域の中で走らせ、最寄りの駅まで送迎することもできるのではないかと。コミュニティビジネスの例もある

大和地区はバスをするのに10年かかったが、そんなに長い時間をかけられない。マンションを売る時に最初から駅などへの送迎バス付で売り出している例もある。

コ) コミュニティビジネスという新たな視点が出た。今の例では、みんなでバス運行を仕事としてやるということ。他の自治体では、訪問看護を行う、「コミュニティナース」を行っているところもある。

公共交通の活かし方

参) JR・阪急・能勢電・近くには伊丹空港もあり、大阪京都にも交通の利便性が良いのでもっとアピールし、川西の今ある交通網を産業に活かすことができないか。

コ) 伊丹空港など、川西市以外の財産を活用する、よりブランド性の高いものを活用するというアイデアも大切かもしれない

3 市内産業の現状について、近隣市の主な産業、産業の施策

(市民環境部 阪上副部長より説明)

市内産業の現状

・川西市は総生産のうちサービス業等の第3次産業の割合が大多数をしめる。

近隣市の主な産業(総生産額)

・川西市、猪名川町、宝塚市は不動産業、保健衛生・社会事業(病院等)が多く、伊丹市、三田市は製造業が多い。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

産業の施策

・補助金、助成金等の説明

川西というブランドを高めるために

参) 知名度を上げることが重要だと思う。市外の人に川西と伝えても「どこ?」と言われる。

マラソン大会や、バル等、色々イベントは行われているが、周知不足でやっていることが知られていない。もっとPRをすべき。

ジョギングやサイクリングをしている人は多い。市外からも来ている。そういう人たちが自然の中でサイクリングして、駅周辺に立ち寄って食事して帰るように。駅周辺に呼び込むのはどうか。

スポーツのイベントがもう少しあったら、川西を通過する人が交流できるのでは。

コ) ベッドタウンで寝るだけのまちから、居心地のよさや、知的さ、いろいろなことに参加できるまちなどにイメージを転換させたいという意見だと思う。

参) 柿や栗といったものでさえ、それを目当てに遠方から訪れる人がいる。川西の人や物や景色をテレビに取り上げてもらうことはできないか。

コ) SNS やテレビを活用してアピールすることも重要というご意見。例えば、大阪のお好み焼きなどは、海外からもバックパッカーが訪れるほどだ。

参) 友人が川西に住んでいるが、住所は「宝塚」と言いたいと言っている。「川西」というブランドが欲しい。

参) 川西のやることは中途半端なのでもっとインパクトのあることをやらないといけない。切り口とアピールの仕方が重要

コ) 今までの川西は穏やかで平均的なまちというイメージ。まちとしてのインパクトを出していくことも大切かもしれない。

参) 実施することを特化して、イメージを特化させるということもあっても良いのではないか。

コ) 特化するというのは一つの方法。かわにしは多様性が高いまちなので、もっと絞り込む必要がある。

新しい産業の創出について

参) よそから若い人を呼び込む必要がある。空き家対策にもなる。IT企業などに使ってもらう。新しい産業が生まれるのではないか。

コ) 全国的にテレワークが増えている。川西市で「しながら仕事ができる」という環境を整えることも重要かもしれない。自宅や自宅周辺に事務所を借りやすくする方法を検討すべきかもしれない。

参) 川西出身者にキングコングの西野亮廣さんがいる。クラウドファンディングなどを活用し、色々なことをされている。西野さんみたいになりたい人を、川西でフォローしますよとPRすればどうか。起業したい人が来て産業が生まれるのでは。

参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

コ) IT 企業などの拠点になるという可能性もある。

参) 川西の中で仕事したい。市外にしか求人がない。

4 その他

参) 川西の地価が下がっていて残念なまちと感じた。

コ) 地価がもっと高くなった方がいいか安い方がいいか

高い方がいい... 6 ~ 7 人、低い方がいい... 0 人

住みやすい、人気が出ると地価は上がってくる。川西は大阪との距離を考えると地価が安くお買い得であるといえる。

コ) 自治会加入率は下がってきているが自治体に入っているか、入っていないか

入っている... 12 ~ 3 人、入っていない... 5 ~ 7 人

自治会加入率が下がってきて地域コミュニティ変わってきている

参) 川西市のコミュニティは、閉鎖的な雰囲気があり、入りにくい。もっと開放的になってほしい。

川西市はコミュニティやお年寄りが作り上げてきたまち。世代間の交流は断絶しており、接する機会が少ない。スポーツイベント等でいろんな世代と交流できたらいい。

参) 市内に私立の学校がない。市外には結構通っている人もいる。市内に良い私立学校があれば、口コミで広がるのではないかな。

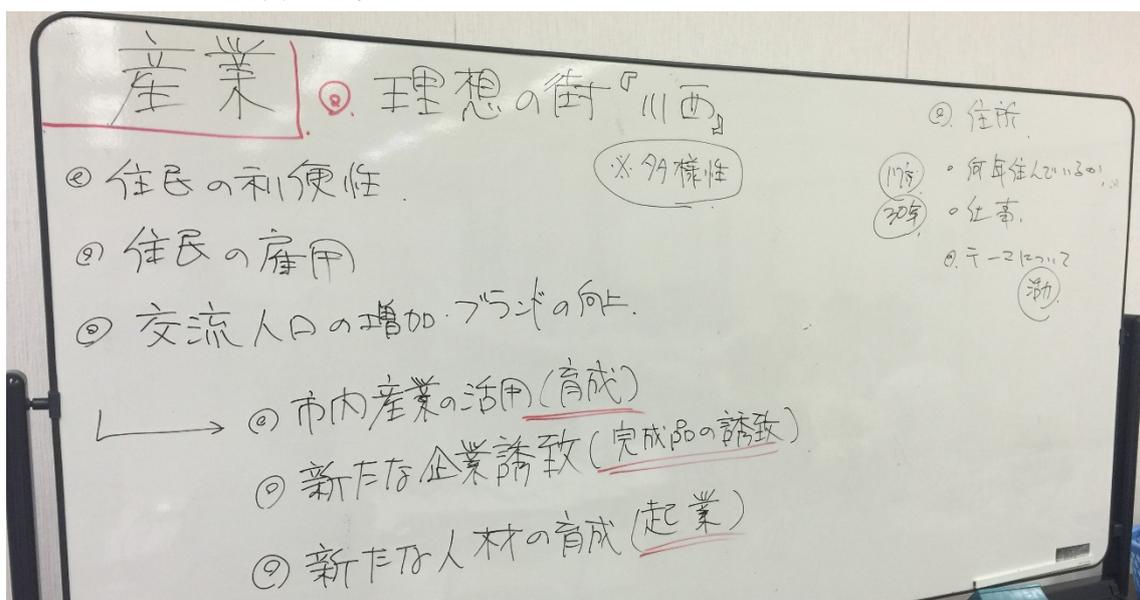
コ) 私立学校ということだが、ニーズはあるのだろうか。

参) 教育が充実していたら、子育て世代は来ると思う。何か目玉になるものが必要。

コ) たしかに西宮市など、良い塾があるという理由で居住地に選ぶ人もいる。

参) 婚活イベントを市が実施するのもいいかもしれない。市が主催だと安心感がある

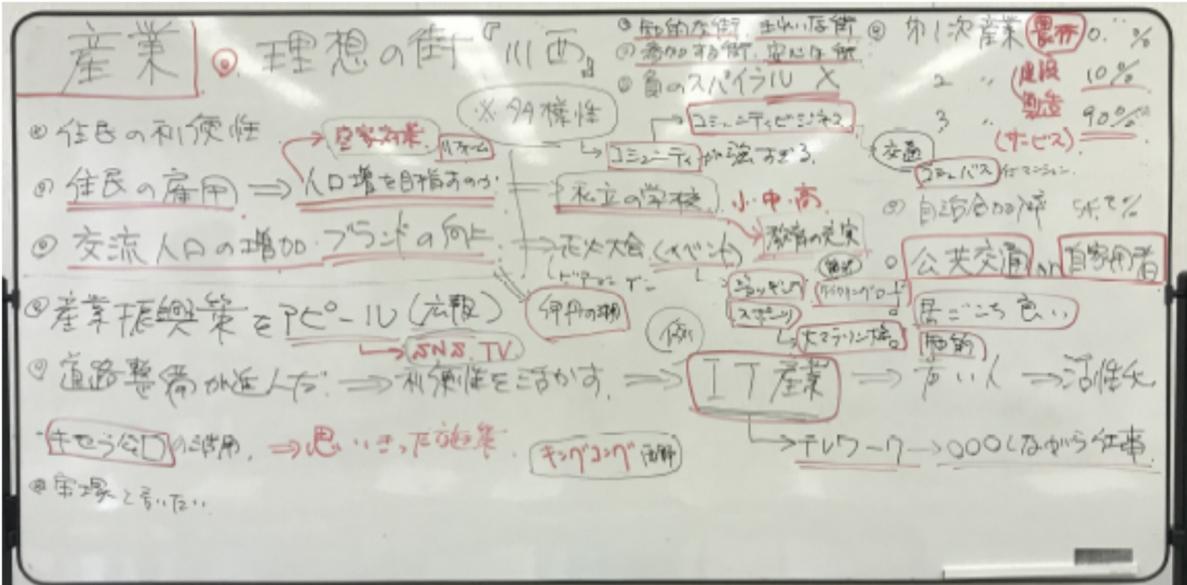
ホワイトボードの写真 途中経過



参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

(様式)

ホワイトボードの写真 最終



参) : 市民参加者、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者